

令和元年11月8日

鎌ヶ谷市長 清水 聖士 様

鎌ヶ谷市総合基本計画審議会  
会 長 宮 脇 淳



鎌ヶ谷市基本構想（案）について（答申）

令和元年10月4日付け鎌企第497号で諮問のありました鎌ヶ谷市基本構想（案）について、本審議会において審議した結果、その内容は、概ね妥当であるものと認めます。

今後は、パブリックコメント等の意見を十分に尊重し、市において鎌ヶ谷市基本構想（案）を最終的に決定されたい。

なお、今後策定する基本計画及び実施計画の検討に関連する重要事項が審議会審議において委員から指摘されていることから、答申とは別に付帯意見として整理している。



## 答申の付帯意見

### 1 保健、福祉の分野

- ・地域の課題に対して、地域による助け合い、支え合いのシステムが構築されているため、その充実と市民への理解を深められたい。
- ・高齢者の活躍の機会を創出されるよう検討されたい。

### 2 子育て、教育の分野

- ・鎌ヶ谷市の未来を担う若い世代が希望をかなえるまちづくりとして、妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない支援や安心して子育てできる環境づくりを推進するよう努められたい。また、推進にあたっては、子どもの視点だけではなく、その保護者など家庭への支援も充実されたい。

### 3 安全、環境の分野

- ・地球温暖化への対応や地震、台風などの自然災害への対応について、検討されたい。
- ・災害に強い街として、具体的な取組みの推進を検討されたい。
- ・災害に強い街として、安心安全な電気・上下水道・ガスなどのエネルギー確保が求められるため、市独自のエネルギーの確保、再生可能エネルギーの導入、停電後の発電設備の設置を検討されたい。
- ・今後も災害が多く発生すると考えられるため、消防・救急体制の充実を検討されたい。

### 4 都市基盤整備、産業の分野

- ・北千葉道路の開通後、鎌ヶ谷市が単なる通過点としないようにするため、開通後のイメージを検討されたい。
- ・北千葉道路など災害に強い道路の整備を進めるとともに、並行して、北千葉道路に繋がる南北の都市計画道路の整備（3・4・6号北初富軽井沢線、3・4・10号中沢北初富線）を先行して実現するよう努められたい。
- ・市内には、通学路に歩道がない箇所があることから、改善を図られたい。
- ・既存幹線道路の電線の地中化や都市計画道路の施行時の電線地中化を務められたい。
- ・市制記念公園と粟野地区公園を結んだ広い道路を設けることで、緑地の連続性を図られたい。
- ・北千葉道路のパーキングエリアを新鎌ヶ谷駅付近に誘致し、新鎌ヶ谷駅の利便性を高められたい。また、パーキングエリア内の施設は、歩行者の誰もが利用できるとともに、市制記念公園や粟野地区公園からも利用ができるようにすることで、緑多い都市のイメージを高められたい。

- ・放置された一軒家などが散見されるため、空き家対策を積極的に推進し、防犯対策、安全対策に限らず、空き家の流通促進を図ることで、人口増加、企業誘致の促進に繋がりたい。
- ・都市計画道路は車両交通主体の計画となるが、人と人との交流や賑わいをイメージすると、人のための道路が重要であり、歩行者の空間を整備していくことは、市をアピールする大きな手段になるため、検討されたい。
- ・防災の観点から、分譲地を増設する際、行き止まり道路を少なくするよう、施工事業者と協議されたい。
- ・地元企業や産業への支援強化を図ることで、市のブランディングの強化に繋がりたい。
- ・企業誘致の一環として、大手企業にサテライトオフィス機能を提供することや若い起業家にスモールオフィスを提供するなど、新鎌ヶ谷駅の利便性の良い面を活用した、新たな企業誘致の方策を検討されたい。
- ・北総台地に位置する本市の強固な地盤のメリットや北千葉道路の開通を見越した企業誘致を進められたい。

## 5 文化、スポーツ、生涯学習の分野

- ・高齢化社会を迎える中、地域の担い手を育成し、お互いに繋がっていくことが大切となることから、プロスポーツの球場など、今ある施設を活用しながら、出来るだけ多くの人が心豊かに活動できるまちになるよう検討されたい。
- ・図書館の生涯学習機能の強化を図るとともに、IT導入による利用率の拡大を検討されたい。
- ・千葉ジェッツを新京成電鉄沿線のホームタウンとして誘致（習志野・船橋・鎌ヶ谷・松戸）するよう検討されたい。

## 6 市民協働、共生の分野

- ・まちの活性化を図るため、既存の行政のルールなどの見直しを行うことで、市民と行政が協力し合える環境をさらに整えるよう努められたい。
- ・外国人住民に住みやすい街とすることで、国際化や外国語教育の強化などの課題解決に繋がりたい。

## 7 持続可能な行財政運営の分野

- ・本市の成田空港や羽田空港をはじめ、沿線都市への交通の利便性が高いことなど、市の魅力をさらに情報発信されたい。
- ・子育て世代の転入促進など市の人口構成を変えるための具体的な取組みについて、専任の職員を配置するとともに、市外へ向けたアピール方法を検討するなど、重点的に推進されるよう努められたい。
- ・今後訪れる人口減少に対する効果的な対策として、子育て世代の流入や企業誘致

による働く世代の増加等の対策を検討されたい。

- ・国と国、都市間競争でも、ITや通信は、非常におおきなウエイトを占めているとともに、現在の社会に変化をもたらしている大きな要素のひとつとなるため、ITの活用策を検討されたい。
- ・地方自治体においても、近年は様々な行政分野においてAIやICTの活用が盛んになってきており、ITへの取り組み方次第で都市間競争に大きな差が出てくるものと考えられるため、先進自治体の調査研究を行い、積極的に取り入れられたい。

## 8 その他全般的な事項

- ・国連サミットで採択されたSDGsの17の目標と関連付けをしておくことで、SDGsの取り組みが今後国内企業や世界的に広がりを見せる中で、企業との協業やイノベーションが生まれやすい状況にしておくことを検討されたい。